

ひまわり日記

5月8日（金）

今年のGWは緊急事態宣言のため閑散とした日本列島でした。そして緊急事態宣言は5月末日まで延長されました。4月と少し違うのは、感染者が減少し、希望的観測かもしれませんが、6月から学校再開ができると思っています。報道されているとおり、学校における感染リスクをゼロにすることは極めて困難です。ただ、このまま臨時休業が長引くことは生徒の学習保障の問題、心身の健康の問題、保護者の皆様の負担を考えても大きな問題があります。新型コロナウイルスという見えない敵と戦うことはとても怖いことですが、この先、長期間にわたりこのウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、学校再開に向けて5月はさらに具体的な準備をする1か月ととらえていきたいと考えています。「**感染リスクを下げつつ、通常の学校生活に戻る**」ために、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。すでに県教育委員会ホームページに記載されていますが、授業時間確保のため7月21日～31日は授業日となりました。

現在、学校では「夏見ビオトープを作ろう」計画が進行中です。ビオトープとはドイツ語で「生き物の住む場所」という意味です。車いすでも観察できるビオトープを作り、身近な生態系を再現し観察してもらおうと先生方が準備を始めました。ようやく土入れ、土台作りをしました。どんなビオトープが完成するか、今からワクワクしています。

皐月晴れ 躑躅も満開です



ビオトープ 土台作り